



原子力機構

技術交流情報



No.8

平成19年3月26日発行

敦賀本部

【トピックス】技術相談窓口システムの運用開始について

無人でも技術相談可能!

地域産業界との連携に向けた取組みとして平成16年5月より敦賀・福井の両商工会議所に開設している技術相談窓口
に、ビジネスコーディネーター(BC)が配置しない無人の時においてもTV電話で技術相談を行うことのできるシステムを
設置し、2月22日(木)より運用を開始しました。

本システムは、これまでに技術相談窓口を利用した企業の方から、週2回(月、木曜日)のBCが配置しない場合におい
ても、技術相談を受けられるようにして欲しいとの要望からシステムを開発するに至りました。

システムの運用時間: 毎平日(月~金)10時~16時
(土、日、祝祭日、年末年始、原子力機構創立記念日を除く)



システム運用開始当日の様子
(敦賀商工会議所)



敦賀商工会議所
1Fロビー内



福井商工会議所
2F技術相談窓口内

このシステムの特徴は以下の通りです。

- ①TV電話用のカメラを搭載したタッチパネルの情報KIOSK端末を利用し、Face to Faceで技術相談を行うことができます。
 - ②最新の検索エンジンを用いて、原子力機構の保有する特許の要約版(約600件)と特許公報(約1,700件)の検索を行うことができます。
 - ③手話アニメーションや人工音声の採用により、利用者に優しいインターフェースを実現しました。
 - ④各種資料はBCと相談者が同一画面を見ながら行うことができます。
 - ⑤原子力機構のホームページや技術移転などの各種情報の検索が行なえプリントすることも可能です。
- また、ふげんやもんじゅの現状を紹介するボタンをトップ画面に設定しています。

今後、このシステムは情報KIOSK端末の機能を有効に活用し、技術相談以外にも適用できるように、原子力機構の広報用の情報提供ツール(オンデマンド映像配信など)として拡張していくことを検討しています。

【技術相談】伝統野菜『マナ』に係るシカの食害対策について



既刊でご案内のとおり「マナ」の食と飾を考える懇話会(事務局:敦賀市、オブザーバ:原子力機構)で今年4月を目的に
伝統野菜「マナ」の現状と課題を分析しながら、地域振興としての「マナ」生産への将来像を検討しておりますが、「マナ」の
普及拡大(作付面積拡大)を図る上で、シカの食害対策が大きな課題となっております。

そのため、現在、実用化に向けた研究として、懇話会メンバーのご協力を頂きながら山地区に試験圃場を設け、市販の
忌避剤(主成分:カプサイシン)を用い、シカに対する忌避効果の実証試験を行っており、その結果を検証しながら新たな
薬剤や防除技術の開発、更には原子力施設等の防護フェンスへの適用性についても検討していきたいと考えております。



電灌とカプサイシン含浸ネット併用



カプサイシン含浸ネットと
園芸用ネットの比較



カプサイシン珪藻土

又、併せて、獣害対策の観点から
もハウス栽培技術の確立が望ま
れており、新たな取組みとして、
現在、その栽培試験も行ってい
ますが、将来的には当機構等の
技術を活用した品種改良も期待
されております。

一口みそ 「カプサイシンとは.....」

唐辛子を辛くさせる成分で動物の目や皮膚の弱いところ
 に付着すると強い刺激と痛みを発生させます。「辛み」は
 痛み同様、「慣れにくい」感覚と言われ、長期的忌避効果
 が期待されております。

なお、成分自体は勿論、無毒です。

独立行政法人 日本原子力研究開発機構
 敦賀本部 経営企画部 技術展開推進Gr 担当-中島 準作(近藤 清美)
 〒914-8585 福井県敦賀市木崎65-20
 TEL:0770-21-5033 FAX:0770-25-5782 <http://www.jaea.go.jp/>